

平成30年度 アルコールと健康を考えるセミナー

お父さん お母さん お酒 まだ飲むの？

～家族の思いを表現する。子どもの立場で経験するアルコール依存症～



© 菊池真理子 (秋田書店) 2017

アルコール依存症は、誰もがその当事者になり得る問題です。それは、本人だけではなく、家族にも大きな影響を与えますが、それぞれの思いを表現し分かち合うことは簡単ではありません。

今回は子どもから見た、親のアルコール依存症問題について、当事者である漫画家の菊池真理子氏の講演をはじめ、子ども、親、支援者それぞれの立場から語り合い、家族の回復や家族が持つ力について、皆さんと一緒に考えたいと思います。

未来を担う子どもたちが健やかに成長できるよう、私たちにできることを考えてみませんか？

日時

平成30年9月30日 (日)
13:00～16:00 (開場12:30)

会場

京都市男女共同参画センター
ウィングス京都 イベントホール

申込

直接会場へお越しください
(参加無料、定員240名、先着順)

*併設の親子室にて、親子で一緒にご聴講いただけます。
*手話通訳が必要な方は、事前にお申し出いただくか、当日の開演時間までに会場受付にお申し出ください。

プログラム

13:00 開会

13:05 講演

「酔うと化け物になる父を持って
～娘の立場から～」

講師 菊池 真理子氏

14:15 休憩

14:30 関係機関紹介

14:45 ミニシンポジウム

「家族の思いと回復への道すじ」

16:00 閉会

主催：京都府・京都市・NPO 法人京都府断酒連合会

問い合わせ

京都府精神保健福祉総合センター相談指導課

Tel : 075-641-1810 Fax : 075-641-1819

京都市こころの健康増進センター相談援助課

Tel : 075-314-0355 Fax : 075-314-0504

講演講師のご紹介

菊池真理子氏



「酔うと化け物になる父が辛い」 著者

月刊エレガンスイブ（秋田書店刊）で、自身の生きにくさを描いたエッセイ「生きやすい」を連載中。

ミニシンポジウム

「家族の思いと回復への道すじ」

シンポジスト

菊池真理子氏（漫画家）

杉山 昌儀氏（いわくら病院 精神科認定看護師）

田辺 暢也氏（京都府断酒平安会 会員家族）

アルコール依存症関係機関の紹介

断酒会

昭和 33 年に誕生した酒害者（お酒に悩む人達）による酒害者のための自助組織です。断酒例会に出席して、会員一人一人が酒害体験と自分自身を率直に語っています。断酒例会では、会員同士は完全に平等の立場で、そこには身分、職業、性別の差は一切存在しません。断酒例会で語り、聴くことで自分と酒の関係がはっきりと見え、共通の悩みを持った者同士の信頼関係が生まれます。そこで、断酒に踏み切り、断酒を継続する努力を始めるのです。断酒を継続することで、新しい人生を創り、力強く生きていくのだという自覚と自信が湧いてくるのです。

AA

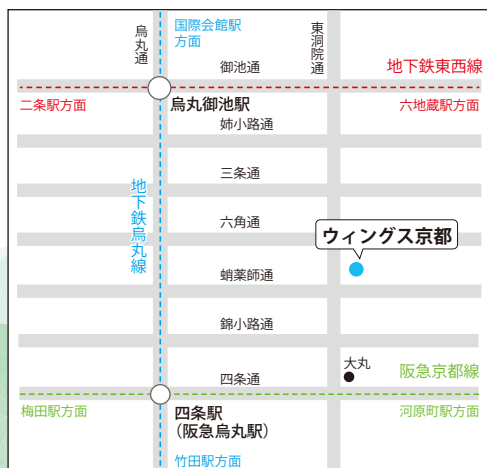
AA（Alcoholics Anonymous の略）とは、自分自身に飲酒の問題があると認め、そのとらわれから解放され、「飲まないで生きていきたい！」と願う自主的な男女の集まりです。

1935 年、アメリカでビルとボブの 2 人のアルコール依存症者が出会ったことから始まり、現在では世界 181 カ国、200 万人以上に広がっています。昭和 45 年頃日本に導入。参加者はミーティングを通して自分自身と向き合い、「12 のステップ」という回復のプログラムを共有し、新しい生き方を身につけ、回復をめざしています。

京都マック

NPO 法人京都マックは、アディクションセンター京都マック（総合支援法 自立訓練・生活訓練）グループホームにこここハウス（総合支援法 共同生活援助）第 2 ハウス・女性ハウス DML 相談支援事業所を運営しています。通所・入寮を通して、依存症からの回復プログラムを実践しています。

また、月 1 回の家族会を開催し家族の悩みをどう解決していけばよいか学習しています。依存症に関する事なら、どんな事でも相談お受け致します。お気軽にいらして下さい。



京都市男女共同参画センター ウイングス京都

（京都市中京区東洞院通六角下る御射山町262番地）

■アクセス

地下鉄烏丸御池駅または地下鉄四条駅・阪急烏丸駅下車徒歩約 5 分

*一般来館者用の駐車場はありませんので、地下鉄や市バス等、公共交通機関のご利用をお願いします